**知りたい！**



**盲ろう者とのコミュニケーション方法**



●盲ろう者とは…？

「目（視覚）と耳（聴覚）の両方に障害を併せ持つ人」のことを言います。

盲ろう者とのコミュニケーションでは、積極的に話しかける気持ちが大切です。



盲ろう者の障害の状態や程度は様々で大きく4つのタイプに分けられます。

●盲ろうの４つのタイプ

①全く見えず聞こえない「全盲ろう」　　　　　　　　　 ②見えにくく聞こえない「弱視ろう」

③全く見えず聞こえにくい「全盲難聴」　　　　　　　　　④見えにくく聞こえにくい「弱視難聴」

**手話ができなくても手書**

**き文字で、盲ろう者とコミュニケーションを取ることができます！**

●コミュニケーション方法

・触手話　話し手が手話をし、盲ろう者がその手に触れて伝える方法

・指点字　盲ろう者の左右の人差し指から薬指までの６指にタッチして伝える方法

・手書き文字　盲ろう者の手のひらに指先などで文字を書いて伝える方法

・音声　聴覚活用が可能な盲ろう者に対して、耳元や補聴器のマイクなどに向かって話す方法

●コミュニケーション6か条

その３

**盲ろう者の言葉にあいづちを打つ**（盲ろう者の手や肩を軽くたたく方法、「うなずき」の手話表現を使う方法があります。）

その２

**話し始めたら盲ろう者にいつも触れておく**(突然手を離されると、盲ろう者は不安になります。)

その１

**自分の名前を伝える**（そっと手や肩に触れてから名前を伝えて話しかけましょう。）

その４

**盲ろう者に話が通じているか常に確認する**（誤解されて伝わることがあるので、盲ろう者の表情や発言内容などを確認しましょう。）

その５

**その場を離れるときは、盲ろう者に伝えてから離れる**（盲ろう者が不安を感じたり、混乱したりしてしまいます。）

その６

**話をするときは、通常の会話のように声を出す**（声に出して周囲の人と話題を共有しましょう。）

この６か条を大切にして、まずは手書き文字から盲ろう者とのコミュニケーションを始めてみましょう！！



【参考文献】

認定NPO法人　東京盲ろう友の会　2024年1月11日閲覧

<http://www.tokyo-db.or.jp/what/consideration/>